

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、取引材料に欠ける中引けにかけて方向感なく推移し、3.09台後半で取引を終えた。オバマ大統領によるドル高牽制発言を受けて（その後否定されている）、グローバルにドル買いポジションの巻き戻しが誘発され、米雇用統計に反応してドル買いレアル売りが進行したレアル相場も勢いを失ったが、足許ではその動きも一服している。また、成長促進策としてブラジル政府は640億ドル規模のインフラ投資計画を公表したものの、楽観ムードは持続せず、ボベスパ株式指数も前日比ほぼ変わらずの水準で引けた。マーケットでは引き続きギリシャ債務協議の先行きに注目が集まっている。ギリシャ政府は今日5日に期日が迫っていた国際通貨基金（IMF）への債務返済を月末30日に先送り（5日を含め6月中に4回合計15億ユーロの返済が予定されていたが、その全てを月末に一本化）しているが、債権者との隔たりはなお深い。欧州連合（EU）はギリシャが年金改革や増税などの財政再建策の実行を条件に、凍結している72億ユーロの融資を再開する方針を示しているが、交渉は依然として難航している。

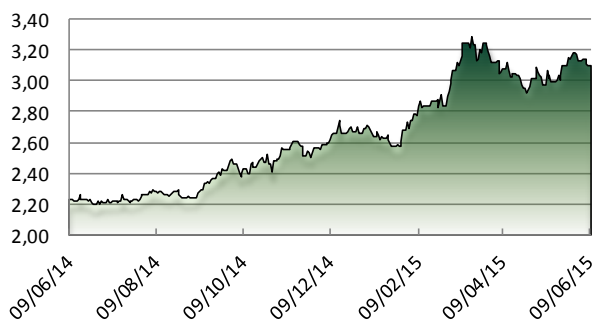
ブラジル地理統計院は本日5月IPCAを公表する。4月の8.17%に続き、市場予想は8%を上回っており、政府目標中心値である4.5%に収斂する兆しは見られない。市場参加者の多くは次回COPOMで25bpの利上げが行われた後、政策金利は当面14%で据え置かれると見込んでいるが、市場予想通り8%を大きく超過する水準が示された場合、利上げ幅が50bpに引き上げられるシナリオも想定される。

マーケットデータ

Indicator	Unit	6月8日	6月9日	前日比	5月8日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	39,99	40,14	+0,15	40,27	-0,13
USD / BRL Spot	BRL	3,1124	3,0970	-0,0154	2,9746	+0,1224
USD / JPY Spot	JPY	124,49	124,34	-0,15	119,76	+4,58
Bovespa（ブラジル株価指数）	Index	52.810	52.816	+6	57.149	-4.333
CDS Brazil 5yrs（クレディットデフォルトスワップ）	bps	248,0	244,8	-3,2	226,1	+18,7
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,44	12,44	+0,00	12,69	-0,25
DI Future Jul16（金利先物）	%	14,05	13,96	-0,09	13,76	+0,20
3 Months US Dollar Libor	%	0,282	0,282	+0,000	0,280	+0,002
CRB Index（国際商品指数）	Index	223,0	226,4	+3,4	229,2	-2,8

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊社担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

